

授業科目及び時間数	高齢者の日常生活を支える看護 1単位 30時間		
開講時期	2年次 前期		
担当教員	吉田聖乃	実務経験	有
<p><科目のねらい></p> <p>加齢変化や老年期特有の疾患により、立つ・座るといった基本動作を基盤とした食事・排泄・清潔などの生活行為が、どのように障害され、どのような援助技術が必要になるのかを学び、知識を身につけることをねらいとした単元である。</p> <p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 身体に加齢変化や老年期特有の疾病が及ぼす日常生活への影響を理解する。 2. 事例を通して、具体的な援助方法を理解する。 			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 高齢者のアセスメント	講義	
2回目	1. 食事・食生活	講義	
3回目	1. 排泄	講義	
4回目	1. 清潔	講義	
5回目	1. 生活リズム	講義	
6回目	1. コミュニケーション	講義	
7回目	1. 基本動作と環境、転倒、廃用症候群	講義	
8回目	1. 活動・休息援助技術（自動・他動運動）	講義・演習	
9回目	1. 事例を通して日常生活援助を考えよう	グループワーク	
10回目	1. 事例を通して日常生活援助を考えよう	グループワーク・演習	
11回目	1. 事例を通して日常生活援助を考えよう	グループワーク・演習	
12回目	1. 治療を必要とする高齢者の看護	講義	
13回目	1. 生活・療養の場における看護	講義	
14回目	1. エンドオブライフケア	講義	
15回目	終了試験		
評価方法	筆記試験 100%		
受講生に対するメッセージ	既習の知識を活用した講義中心の授業です。授業前には、老年看護概論・高齢者の症状に応じた看護で学んだ内容を復習して臨んでください。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 出版社：医学書院		
参考書	なし		